

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】: COVID-19 に対するレムデシビルの有効性および安全性に関する検討

【研究機関】愛媛大学医学部附属病院薬剤部

【研究責任者】木村博史(薬剤部室長)

【研究目的】

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) が世界中で蔓延し、日本でも医療現場の逼迫や日常生活の制限など多くの影響を受けています。そのなか、2020 年 5 月に抗ウイルス薬レムデシビル (RDV) が COVID-19 の治療薬として承認されました。また、「COVID-19 診療の手引き」の中でも中等症～重症例に対して使用が奨められています。

現在、愛媛大学医学部附属病院(当院)では、愛媛県下における主に重症例を受け入れて RDV などを使用して治療してきましたが、日本国内における RDV の有効性や安全性に関する報告は未だ十分ではないのが現状です。

そこで本研究では、当院における COVID-19 に対する RDV の有効性や安全性について検討します。

【研究意義】

COVID-19 に対して RDV を使用した患者さんを調査し、検討することで RDV の有効性や安全性を確認し、今後の COVID-19 治療に貢献できると考えています。

【調査の対象となる患者さん】

2020 年 5 月～2021 年 5 月に RDV を使用した患者 29 名のうち、転院または退院となった 27 名の患者さん

【方法】

対象の患者さんの年齢、性別、基礎疾患、BMI、入室時 SOFA スコア、入院期間、挿管期間、RDV 投与日数、変異株の有無、RDV 使用中の有害事象(副作用)、体外循環の有無、併用

薬、検査歴(肝機能:AST、ALT、 γ -GTP、ALP、T-Bil、腎機能:Cre、電解質:Na、K)等についてカルテを用いて調査します。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

< 試料・情報の管理責任者 > 愛媛大学医学部附属病院 薬剤部 木村 博史

【研究実施体制】

研究機関:愛媛大学医学部附属病院 薬剤部

研究責任者:木村 博史

791-0295 愛媛県東温市志津川

電話番号:089-960-5872

研究分担者:職員 矢野 賢明

研究協力者: 薬剤部長 田中 守

副薬剤部長 飛鷹 範明

職員 黒河 幸朗

職員 泉 智樹

職員 川上 幸伸

【研究に関する問い合わせ先】

本研究からご自身の情報を除いてほしいという方は、下記の連絡先までお申し出ください。

また、本研究に関する詳細な資料を希望される方や詳細な情報を知りたい方は下記の連絡先まで連絡をお願いします。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

研究責任者:木村 博史

791-0295 愛媛県東温市志津川

電話番号: 089-960-5872